

アイデア提案用紙

受 理 番 号

26-A071

標 題	市内ホテルと帰宅困難者受入れ協定を締結			
想定される効果 (該当項目をチェック、複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの向上	<input type="checkbox"/> 事務の合理化	<input type="checkbox"/> 経費の節減	<input type="checkbox"/> 収入の増加
	<input checked="" type="checkbox"/> 市のイメージアップ	<input type="checkbox"/> 職員の意識変革	<input type="checkbox"/> 政策・事業の改善	<input type="checkbox"/> その他
提案を総括すべき課	防災課			
1 今のやり方(現状・問題点)……具体的に				
<p>大地震などの大規模災害が発生した場合、電車・バス等の公共交通機関が麻痺するため、多くの帰宅困難者の出現が予想され、帰宅困難者の安全確保と地域の混乱防止が課題となる。 (平成23年3月11日に発生した東日本大震災の際、本市でも対応に苦慮したところである。)</p>				
2 私の考え方(改善案)……具体的に				
<p>市内のホテルと次のような内容の協定を締結する(特に駅前のホテルが効果的と考えられる)。</p> <p>[協力内容]</p> <ul style="list-style-type: none">・施設の一部を一時受入れ場所として提供する。・施設において、水道水及びトイレを提供する。・知り得た災害に関する情報(公共交通機関の運行情報や道路情報等)を提供する。・備蓄する飲料水や食料等を可能な範囲で提供する。・市が指定する場所への経路等の案内をする。 <p>[災害時の情報共有] ・協力期間中に得た情報を相互に提供し合い、情報の共有化に努める。</p> <p>※費用負担については、「協力に要した費用を、受け入れ施設の請求に基づいて市が負担する」ことも検討したうえで、各ホテルと協議のうえ決定する。</p>				
3 このように良くなります(改善効果)……数量等を具体的に				
効果額 (算定根拠)				
その他の効果	帰宅困難者の安全確保と地域の混乱防止が図られる。 特に、高齢者や障がい者、妊産婦、乳幼児、病弱者等、他の一時滞在施設(公民館等)で滞在が困難な「特別な配慮が必要な帰宅困難者(災害時要援護者等)」を收容するために効果的な施設となる。			